



第一地区コミュニティ

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第16号 平成13年1月1日発行

新世紀に向かってのコミュニティ活動

コミュニティ推進委員会
会長 副島道彦



くわいせいのせいせいせい

地域社会の中で温かなふれあいをとりもどし、「豊かで潤いのある地域づくり」を目標にコミュニティ推進委員会が発足して五年目となりました。

開館四年目の「第一地区センター」を拠点に様々な活動を展開する中で第一地区の皆様のご理解・ご協力のもとに地域全体の輪が大きく広がっております。これも、偏に皆様のご尽力のお蔭と心よりお礼申し上げます。近年、私たちを取り巻く社会環境・生活環境は大きく変化し全く予測のつかない出来事が、毎日報道等で知らされ、皆様も胸を傷めて居られるのではないかと思います。

こんな時こそ、私たち大人が地域や家庭に於いて取り組まなければならない事を、今一度確認する必要があると思います。

二十一世紀に向かって私達自らが、それぞれの立場で自分の住む地域をどうすべきか真剣に考えていく必要があります。

また、都市化の発展、急激な高齢化・少子化進展などで失われていった社会のつながりを取り戻し、地域が今以上に一体となれる地域づくりを考えていく必要があると思います。

身の回りの自然環境や文化遺産、地域の基盤となる産業などを見つめ直しながら、地域の魅力を再確認する事も大切です。

そして、親や地域の大人達の果たすべき役割を認識し、次世代を担う子供たちの為に、諸先輩や先人達の築かれた「第一地区」を「一人ひとりを大切に」住みよさが実感できる素晴らしい地域に発展させていきたいと念願いたします。

『第一地区コミュニティ祭』 地域と学校が「つ」になり

文化の祭典を盛大に開催

「平成十二年度第一地区コミュニティ祭」は、十一月十二日、第一地区センターと一小体育館で盛大に開催されました。

開会式でのテープカットに、小・中学生の代表やミレニアム赤ちゃんとお両親（伊藤さん）も参加、コミュニティ祭に相応しい幕開けとなりました。



地区センターでは、絵画、書芸、生け花、写真、陶芸等の「展示の部」「囲碁将棋大会」「健康チェック」「お抹茶のお手前」「折り紙教室」、体育館では、午前に「演芸の部」午後には「輪投げ大会」と盛りだくさんの内容で、参加した人、訪れた人達が共に楽しみました。

昼時には、今年も豚汁がふるまわれ、模擬店では、ノッポパン、みかん、団子、大福、塩辛家庭紙等のほか、体育館の皆さんによる焼きそば販売もあり、一時は行列ができるほどの盛況でした。

今年も前日の展示会場の準備当日の模擬店部門の販売等に一中の有志が手伝いに参加するなど、地域と学校とが一体となつて取り組んだ素晴らしい文化の祭典となりました。

コミュニティ祭も回を重ねる毎に盛んになってきていますが今年は「よさこい沼津まつり」があったにも関わらず、昼頃には会場が人で溢れるほどの盛況で、関係者を喜ばせました。

二十一世紀に向けて

第一小学校

鈴木 里菜



私は、総合学習で、未来の一小校区のことについて、市役所へ行き調べてきました。人口の事と、交通の事について、聞きました。沼津市の人口が減っていると聞いて、

二〇〇二年の抱負

第一中学校

石川 芽里

二〇〇一年、私は、生徒会活動と部活動を両立させたいと思っています。後期の生徒会役員になり、放課後の仕事が忙しく、部活動には、試合前ぐらいしか出

とても驚きました。沼津市には、大きな会社や工場が少ないので人も増えないそうです。交通の様子では、ビーバスとミューバスというバスが、運賃も安く、車椅子や自転車も乗れ、子供からお年寄りにまでやさしい乗り物としてありました。

交通がとても便利になってきていると、分かりました。市役所では、人が住みやすいように考え、計画してくれていると思いました。

二十一世紀に、どんどんと人にやさしく、生活しやすい沼津になっていくと実感しました。

られない程でした。しかし、部活動のできる期間はもう少ししかありません。だから、時間を有効に使い、悔いのないように取り組みたいです。また、中学校生活もあと一年くらいしかないのです、楽しく充実した毎日を通り越せるようにしたいです。

コミュニティ祭のすなっぴから



地域防災訓練を終わって

防災指導部長

鈴木 忍雄

十二月の第一日曜日(今年は十二月三日)は「県下一斉地域防災訓練の日」です。

第一地区では「会場型」訓練として一小校庭・地区センターで実施しました。

第一地区住民は、前線基地の一小校庭に非難集合の非難訓練を兼ねて各町より集合。

九時三十分・訓練開始式のあと、十三自主防災会を三組に組分けし、三会場を各三十分で実習する訓練を行いました。

今年の訓練には、斎藤沼津市長をはじめ県・市・地元消防団等多くの関係者の出席とご指導ご支援により、無事予定訓練を終了できました。

今年の参加人員は

大人	三九一人
小学生	七三人
中学生	一一八人
園児	二人
合計	五八四人

「会場型訓練」の参加者は年々減少する傾向が見られますが、今年は中学生の積極参加が目立ち、大活躍してくれました。一方高校生は参加者が無く課題として残ります。本年度の訓練テーマは「地域の連携と防災力の強化助け合う人と地域の結びつき」です。

Xデーに向かって、刻一刻進んでいると云われている昨今です。

防災対策は、「自分のため・家族のため・地域のため」の備えです。

一人ひとりが、自分をまもるためにどう備えるか、考える必要な時となっています。



♡♡♡♡♡
「コミュニティの赤ちゃん」
こんにちは

次世代を担う子供の誕生を

「コミュニティのみんな」

お祝いしましょう。



第一地区成人式

とき 平成13年1月8日
(成人の日)

10:00 ~ 12:00

ところ 白銀町・高砂殿

新成人の皆さん おめでとう



新春



コミュニティ活動努力賞受賞

平成十二年度「コミュニティ活動賞」として、静岡県コミュニティ推進協議会より、

第一地区コミュニティ推進委員会が表彰されました。

この表彰事業は、昭和五十六年から始まり、今年度で二十回目になります。

第一コミュニティ推進委員会では、初めての受賞ですが

今後も、皆さんの協力で今ま

新世紀を迎えて思うこと

二、〇〇一年を迎えて、我ながら随分長生きしたものだ、長い人生には色々なことがありました。

支那事変から大東亜戦争と多くの尊い人命が失われ、戦後は大きく変わって、驚くことばかり。民主主義とは言っても、義理も人情も薄くなり、言いたい放題、やり放題で忠君、愛国心はすでに死語。国会の反乱、総理の回し持

で以上の活動をしていきましよう。

表彰状

コミュニティ活動努力賞

第一地区コミュニティ推進委員会

賞状を授けらるるコミュニティ

づくりの活動は住みよい地域

づくりに大きく寄与しています

ここに今後における一層の活躍

を期待と努力賞を贈ります

平成十一年十二月九日

静岡県コミュニティ推進協議会

会長 大石 温子

ち、失言の揚げ足、血税の無駄使い、文部省はどうして昔の修身なくしたでしょう。

古い人間は驚くことばかりです。今物が豊富で、物を粗末にし、ゴミの多いこと。ゴミと苦情で日本列島沈みそう。

二、〇〇一年を迎えるにあたり、不況や、天災、汚職を吹き飛ばし、そして殺人ニュースの無い、明るく穏やかな年でありたいと願います。

白銀町福寿会

小野 信子(九一歳)

第一地区コミュニティ 斎藤市長と語る

九月六日(水)、第一地区センター会議室で斎藤市長とコミュニティの意見交換会が行われました。コミュニティからは各自治会長など六十名ほどが出席し、数々の意見が出され、市政と地域を結ぶ意義のある会となりました。

市長は冒頭の挨拶のなかで中心市街地活性化基本計画が出来たので、これからは民主導で進めて欲しいことや、二〇〇七年技能五輪招致に向けての市の考え方、今の教育に必要なのは徳育であることなどを話されました。

次に、意見交換で出席者から出された意見の一部を紹介すると、
・蛇松緑道の生垣の選定の日を教えて欲しい。また、市で出来なければ老人会でするので、選定の指導を
・ごみ減量のため、買い物袋の推進を



・青少年健全育成のため、あ
いさつの重要性の周知を
・子持川の散策路の実現に協
力を

・中央公園周辺の活性化の方
策は

・小中学校のスポーツ指導に
地域の経験者の受け入れは
・技能五輪に関係し、若い世
代の職業教育の考えは
等でした。

地区センター休館日

1月	1.	2.	3.	4.	8
	15.	22.	29.		
2月	5.	12.	13.	19.	26
3月	5.	12.	19.	21.	26

☎63-5088

第一地区一斉補導の 実施について

県下一斉補導に合わせ、第一地区一斉補導を昨年十二月二十五日の夜間に実施しました。

この補導には、各自治会長はじめ役員、PTA関係者、第一地区少年補導委員、沼津市青少年教育センター職員、

福祉講演会

介護保険制度がスタートして

社会福祉部長
井口 八千恵

平成十二年十一月十六日・社会福祉部主催の第三回福祉講演会を開催しました。

四月よりスタートした介護保健の沼津市の実施状況では要介護認定を受けた受給資格者は三三〇〇人で事業計画より千人ほど下回ったとのこと。サービスの利用状況では、在宅サービスを約一、八〇〇人が利用。施設サービスでは約八〇〇人近くの人が利用。

沼津警察署警察官等多くの方に参加していただきました。

覚醒剤の売買や使用等は当地域においては関係ないように思いがちですが、実際のところ、沼津駅のまわりで覚醒剤の使用跡などが見られるそうです。第一地区の中には繁華街や危険な場所があるため、青少年への誘惑を懸念しなければなりません。間違いが起

介護について一言！

一、介護を受ける人を主人公にすること。

二、誰がチーフの役割を果たすのか。そして親族、周りの人達がそのチーフをどのようを支えるかを考える。

三、自分の家庭で「やれることとはやる。やれないことはやれない。」その事をはっきりさせることが大切。

四、自分が出来ないことを抱えこんでしまうと自分が潰れてしまう。

五、サービスの利用者は声を大にして「このようにして

きてからでは手遅れです。

青少年の非行を防止し、青少年の健全育成を図る環境づくりのため、地域をあげて取り組む必要があります。

そのため、今後も、県下一斉夏季・冬季少年補導に合わせた地域ぐるみの補導活動等を実施していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

欲しい」とサービスの事業者や行政側に提言していくことも大切。

わからない事、こまった事があつたらまず相談してみましよう。

沼津市長寿介護課介護保険室
☎ 三四二七三一

新世紀元年・明けましておめでとございます。
今年もコミュニティ活動にご協力をお願いします
広報紙編集委員会一同